

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		昭和31年度～	
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	01 生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	07 公園緑地
事務事業名		02 公園管理事業	
		根拠法令・規程等	都市公園法
		担当課(室)	都市整備課
		職・氏名	都市建築係長 大森賢二
		電話	0869-64-1834

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	公園利用者
目的(何のために)	都市公園等の適正な維持管理を行うことによって、公園利用者の安全と利便性の向上を図るため
行政活動(どのような方法で)	公園及び遊具の定期点検を行い、公園内の除草、植栽の剪定、防除・施肥、かん水、清掃を実施する。また、公園緑地等協議会に要望やアンケートの提出、会費の納入事務等する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	安全で安心して利用できる公園

事業の実績					
活動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	施設点検	回	36	36	36
	清掃(除草)等	回	54	54	54
	管理都市公園数	箇所	23	23	23

事業費	直接事業費	千円	49,011	33,256	3,796
	必要人員	人件費	0.24人	5,673	0.34人
	事業費計		54,684	36,343	6,104
結果	国・県支出金				
	受益者負担		111	77	15
財源	線入金				
	その他()				
	一般財源		54,573	36,266	6,089
	受益者負担比率	%	0.2%	0.2%	0.2%

結果指標①	施設点検回数	説明	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	結果指標量	都市公園等の年間施設点検回数	36	36	36
	対前年比	%	100.0%	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	14,011,000	4,577,000	6,104,000
	単位当たりコスト		389,194	127,139	169,556
結果指標②	結果指標量				
	対前年比	%			
	活動コスト	円			
	単位当たりコスト				

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
	目標値(A)	0	0	0	0
公園内事故件数	実績値(B)	0	0	0	到達目標年度
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
公園利用者からの報告					

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
市の関与の妥当性	市の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	判定理由・課題認識 都市公園を利用する市民は、子供連れの家族、近所の住民、桜の季節のみという偏りがある。市民全員が利用してみたいという魅力ある安全な公園を目指す。また、都市公園の健全な発展のため、公園緑地等協議会に要望、アンケートを提出している
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めた職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> B 判定理由・課題認識 遊具等の安全点検を公園管理マニュアルに基づき定期的に実施するとともに、清掃(除草)委託時に、作業内容別に回数を見積り、委託しているがより有効な維持管理ができる作業内容を導出していく。さらに、コスト削減を図っていく。なお、直接事業費の内、浜山干拓地購入費は平成19年度をもって終了した。
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E> B 判定理由・課題認識 公園利用者の事故を無くし、安全な公園を目指し、利用者からの苦情の内容は、ゴミに関することや公園利用のことが多いので、この苦情をゼロにするように努める

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	結果指標量②	成果指標量	休止	廃止・完了	
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	
説明	公園管理委託料は減額しているため、市職員による管理回数が増加している					

総合評価		評価区分<A~E>	妥当性	有効性	効率性
安全な公園を目指し、遊具等の安全点検を公園管理マニュアルに基づき、定期的に実施するとともに、清掃(除草)作業について、市民協働による管理と公園利用者の公共意識の向上を図ることを目標とする		B			

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	公園管理委託料は減額しているため、市職員による管理回数を増やす必要がある					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。